

報道関係者 各位

令和5年3月16日

【照会先】

医政局医事課試験免許室

試験専門官 吉井 史歩 (内線4129)

国家試験係長 安達 亘 (内線2282)

(代表電話) 03 (5253) 1111

## 第117回医師国家試験の合格発表

令和5年2月4日(土)及び5日(日)に東京都他11か所において実施した第117回医師国家試験の合格者を発表しました。今回の医師国家試験の合格者数等は次のとおりです。

### 記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	9,703人	9,459人	8,972人	94.9%
全体	10,586人	10,293人	9,432人	91.6%



## 第117回医師国家試験の合格基準

第117回医師国家試験の合格基準は、

- ① 必修問題は、一般問題を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、  
総得点が、160点以上／200点
- ② 必修問題を除いた一般問題及び臨床実地問題については、  
各々1問1点とし、  
総得点が、220点以上／295点
- ③ 禁忌肢問題選択数は、2問以下

とする。

第117回医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 15 問

15 医療保険による在宅医療サービスはどれか。3つ選べ。

- a 在宅看取り
- b 歯科訪問診療
- c 妊産婦訪問指導
- d 訪問リハビリテーション
- e 訪問看護ステーションへの指示書の交付

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

# 第117回医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

## C 問題 第 60 問

次の文を読み、60～62の問いに答えよ。

76歳の男性。食欲不振と倦怠感を主訴に来院した。

現病歴：1週間前から倦怠感と水様便(1日2回～4回)が出現した。食欲がなく、おかゆを無理に食べている。悪心はあるが嘔吐、腹痛、黒色便および血便はない。体重が3kg減少した。37℃台の微熱があるが悪寒戦慄はない。

既往歴：高血圧症でカルシウム拮抗薬を内服している。アレルギーなし。

生活歴：妻と2人暮らし。喫煙は20歳から40本/日。飲酒歴はない。

家族歴：兄が60歳台で大腸癌。

現症：意識は清明だがややぐったりしている。身長166cm、体重69kg。体温37.5℃。脈拍104/分、整。血圧86/50mmHg。呼吸数20/分。SpO<sub>2</sub>96%(room air)。皮膚は乾燥し、色素沈着を認めない。眼瞼結膜と眼球結膜とに異常を認めない。口腔内は乾燥しており咽頭発赤はない。頸静脈の怒張を認めない。甲状腺腫と頸部リンパ節を触知しない。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、圧痛はなく、肝・脾を触知しない。四肢末梢は冷たいがチアノーゼや浮腫を認めない。ばち指を認める。

検査所見：尿所見：蛋白(-)、糖(-)、潜血(-)。血液所見：赤血球437万、Hb12.3g/dL、Ht34%、白血球5,400(好中球45%、好酸球21%、好塩基球1%、単球9%、リンパ球24%)、血小板23万。血液生化学所見：総蛋白6.3g/dL、アルブミン3.7g/dL、総ビリルビン0.5mg/dL、直接ビリルビン0.2mg/dL、AST43U/L、ALT78U/L、LD169U/L(基準120～245)、ALP200U/L(基準38～113)、γ-GT96U/L(基準8～50)、CK100U/L(基準30～140)、尿素窒素11mg/dL、クレアチニン1.0mg/dL、尿酸3.7mg/dL、血糖92mg/dL、Na118mEq/L、K4.6mEq/L、Cl89mEq/L、Ca8.4mg/dL。血清浸透圧240mOsm/L(基準275～288)、尿浸透圧572mOsm/L(基準50～1,300)、尿中Na84mEq/L。胸部エックス線写真(別冊No.9A)と胸腹部造影CT(別冊No.9B、C)を別に示す。

60 この患者の電解質異常の鑑別に有用な検査はどれか。2つ選べ。

- a プロラクチン
- b ACTHとコルチゾール
- c 副甲状腺ホルモン(PTH)
- d レニン・アルドステロン比
- e TSHと遊離サイロキシン(FT<sub>4</sub>)

別冊

No. 9 A、B、C

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第117回医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 38 問

38 65歳の男性。乳房の腫脹と痛みを主訴に来院した。5年前から泌尿器科で抗男性ホルモン薬による前立腺癌の治療を受けている。1年前から高血圧症でカルシウム拮抗薬を、肝硬変で利胆薬と抗アルドステロン薬を内服している。2か月前から乳房の腫脹と痛みが出現し、持続しているため受診した。体温36.7℃。脈拍96/分、整。血圧144/80 mmHg。眼瞼結膜に異常を認めない。柔らかな甲状腺腫を触知する。心音と呼吸音とに異常を認めない。両側の乳房に腫大を認めるが、熱感や発赤は認めない。乳頭部分が下着に当たると軽い痛みがある。乳汁分泌は認めない。乳房の写真(別冊No. 13)を別に示す。

この患者の乳房腫大の原因で可能性が低いのはどれか。

- a 肝機能障害の進行
- b 甲状腺機能亢進症
- c 抗男性ホルモン薬治療
- d カルシウム拮抗薬の内服
- e 抗アルドステロン薬の内服

別 冊

No. 13

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

設問が不明確で正解が得られないため。

第117回医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 53 問

53 69歳の男性。びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する治療のため来院した。30年前から高血圧症と慢性腎臓病で自宅近くの診療所に通院していたが、胸部エックス線写真で縦隔腫瘍を指摘された。2週間前に胸腔鏡下に縦隔腫瘍の生検を受け、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫と診断され、抗癌化学療法を受けるため紹介受診した。身長 168 cm、体重 61 kg(3 か月で 5 kg 減少)。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。血液所見：赤血球 451 万、Hb 12.7 g/dL、Ht 40%，白血球 8,400、血小板 36 万。血液生化学所見：総蛋白 6.6 g/dL、アルブミン 3.5 g/dL、総ビリルビン 0.8 mg/dL、AST 25 U/L、ALT 19 U/L、LD 286 U/L(基準 120～245)、尿素窒素 38 mg/dL、クレアチニン 2.1 mg/dL、尿酸 8.9 mg/dL。心電図に異常を認めない。

この患者で治療開始前に行うべき検査はどれか。2つ選べ。

- a 骨髄検査
- b 呼吸機能検査
- c 心エコー検査
- d 腹部超音波検査
- e 頸部～骨盤部造影 CT

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第117回医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

F 問題 第 42 問

42 75歳の女性。全身倦怠感を主訴に来院した。1年前に骨転移を伴う進行肺小細胞癌と診断され、腰椎骨転移に対して放射線照射を施行後、薬物による抗腫治療が行われたが効果が乏しく、3か月前から薬物による抗腫治療は行わない方針となった。1週間前から全身倦怠感が著明となり入院した。意識は清明であるが受け答えは緩慢である。身長161 cm、体重42 kg。体温36.9℃。脈拍104/分、整。血圧112/62 mmHg。呼吸数20/分。SpO<sub>2</sub>95%(room air)。眼瞼結膜と眼球結膜とに異常を認めない。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。腰背部に叩打痛を認める。胸腹部・骨盤部CTで多発腰椎転移の増悪を認めたが、既に放射線照射を施行した部位であり、再照射は不可能と判断された。疼痛コントロールのためオキシコドン20 mg/日の経口投与を開始したが、5日経過後も疼痛コントロールは十分でなく、嚥下障害で内服が困難となったため経口薬を中止した。

オピオイドローテーションとして適切なのはどれか。

- a 高用量塩酸モルヒネを急速静注する。
- b 塩酸モルヒネを経鼻胃管から投与する。
- c オキシコドンの持続点滴静注を開始する。
- d モルヒネ塩酸塩水和物坐薬を3時間ごとに投与する。
- e フェンタニル口腔粘膜吸収剤を1時間ごとに投与する。

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

医師国家試験 合格者数等の推移

回数	施行年月日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第117回	令和 5年 2月 4 ~ 5日	10,293	9,432	91.6
第116回	令和 4年 2月 5 ~ 6日	10,061	9,222	91.7
第115回	令和 3年 2月 6 ~ 7日	9,910	9,058	91.4
第114回	令和 2年 2月 8 ~ 9日	10,140	9,341	92.1
第113回	平成31年 2月 9 ~ 10日	10,146	9,029	89.0
第112回	平成30年 2月 10 ~ 11日	10,010	9,024	90.1
第111回	平成29年 2月 11 ~ 13日	9,618	8,533	88.7
第110回	平成28年 2月 6 ~ 8日	9,434	8,630	91.5
第109回	平成27年 2月 7 ~ 9日	9,057	8,258	91.2
第108回	平成26年 2月 8 ~ 10日	8,632	7,820	90.6

医師国家試験 男女別合格者数等の推移

回数	受験者数(人) 男女比(%)	合格者数(人) 男女比(%)	総数	男女別合格者数		男女別合格率(%)	
				男性	女性	男性	女性
第117回 (令和5年)	受験者数(人)	10,293	6,785 (65.9)	3,508 (34.1)	91.0	93.0	
	合格者数(人)	9,432	6,171 (65.4)	3,261 (34.6)			
第116回 (令和4年)	受験者数(人)	10,061	6,732 (66.9)	3,329 (33.1)	90.8	93.4	
	合格者数(人)	9,222	6,112 (66.3)	3,110 (33.7)			
第115回 (令和3年)	受験者数(人)	9,910	6,656 (67.2)	3,254 (32.8)	90.4	93.4	
	合格者数(人)	9,058	6,019 (66.4)	3,039 (33.6)			
第114回 (令和2年)	受験者数(人)	10,140	6,806 (67.1)	3,334 (32.9)	91.2	94.0	
	合格者数(人)	9,341	6,206 (66.4)	3,135 (33.6)			
第113回 (平成31年)	受験者数(人)	10,146	6,843 (67.4)	3,303 (32.6)	88.1	90.8	
	合格者数(人)	9,029	6,029 (66.8)	3,000 (33.2)			
第112回 (平成30年)	受験者数(人)	10,010	6,685 (66.8)	3,325 (33.2)	89.1	92.2	
	合格者数(人)	9,024	5,958 (66.0)	3,066 (34.0)			

第117回医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次	受験可能回数	受験者数(人)	構成比(%)		合格者数(人)	合格率(%)
			受験者数(人)	合格者数(人)		
新卒 令和4年4月～ 令和5年3月	1回	9,459	91.9	8,972	94.9	
既卒	2回	445	4.3	316	71.0	
	3回	150	1.5	90	60.0	
	4回	71	0.7	34	47.9	
	5回	33	0.3	6	18.2	
	6回	29	0.3	4	13.8	
	7回	20	0.2	4	20.0	
	8回	7	0.1	2	28.6	
	9回	3	0.0		0.0	
	10回以上	76	0.7	4	5.3	
	計		834	8.1	460	55.2
総計		10,293	100.0	9,432	91.6	